

4. 東北森林管理局における防除対策

(1) 特別伐倒駆除

被害木を伐倒し、中にいるマツノマダラカミキリの幼虫を物理的に駆除するため、破碎等を行います。



松くい虫被害木



チッパーによる破碎処理

(写真撮影：林野庁)

(2) 伐倒駆除

マツノザイセンチュウ及び運び屋であるマツノマダラカミキリを駆除する方法です。被害木を伐倒して薬剤でくん蒸します。カミキリの飛散・移動が終わった当年秋から翌年春の羽化脱出前までに実施します。



被害木の集材作業



薬剤散布後、生分解性シートで
被覆（くん蒸処理）

(3) 樹幹注入

マツにあらかじめ薬剤の注入を行い、マツノマダラカミキリの嗜み跡からマツノザイセンチュウが侵入、増殖するのを防ぎます。



樹幹注入

(4) 薬剤散布

羽化脱出直後のマツノマダラカミキリの成虫が健全なマツに後食するのを防ぐため、スパウター等によるマツ林への薬剤散布を実施しています。



スパウターによる地上散布